

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【公表番号】特表 2008-533919 (P2008-533919A)

【公表日】平成 20 年 8 月 21 日 (2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報 2008-033

【出願番号】特願 2008-501981 (P2008-501981)

【国際特許分類】

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 B 7/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 3 0 0 Z

H 0 4 B 7/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 8 日 (2008.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の処理要素 (110 - 1 ~ 110 - N、200) と、1 つまたは複数の再構成可能な無線相互接続 (120 - 1 ~ 120 - M、320、322、324) とを含み、各処理要素 (110 - 1 ~ 110 - N、200) は、少なくとも 1 つの別の処理要素 (110 - 1 ~ 110 - N、200) と 1 つまたは複数の再構成可能な無線相互接続 (120 - 1 ~ 120 - M、320、322、324) を介して通信するために適合され、

前記複数の処理要素 (110 - 1 ~ 110 - N、200) の各処理要素は、

1 つまたは複数のマイクロアンテナ (230、430 - 1 ~ 430 - N) と、

処理要素データ出力を表す 1 つまたは複数の RF 信号を送信し、さらに第 1 のデータリンクプロトコルに基づいて前記処理要素データ出力を変調するように適合されている 1 つまたは複数の無線送信モジュール (210、410 - 1 ~ 410 - N) と、

処理要素データ入力を表す 1 つまたは複数の RF 信号を受信し、さらに第 2 のデータリンクプロトコルに基づいて処理要素データ入力を復調するように適合されている 1 つまたは複数の無線受信モジュール (220) と、をさらに含む、再構成可能なコンピュータ処理システム (100)。

【請求項 2】

前記複数の処理要素 (110 - 1 ~ 110 - N、200) の各処理要素は、

少なくとも 2 つのマイクロアンテナ (230、430 - 1 ~ 430 - N) と、

前記少なくとも 2 つのマイクロアンテナ (230、430 - 1 ~ 430 - N) を介して送信するように結合され、各無線送信モジュールが、処理要素データ出力を表す RF 信号を送信するように適合され、前記処理要素がさらに、前記少なくとも 2 つのマイクロアンテナ (230、430 - 1 ~ 430 - N) により送信される前記 RF 信号の方向を制御するように適合されている、少なくとも 2 つの無線送信モジュール (210、410 - 1 から 410 - N) とを含む、

請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの処理要素 (200) 同士で 1 つまたは複数の再構成可能な無線相互接

続 (1 2 0 - 1 ~ 1 2 0 - M、 3 2 0、 3 2 2、 3 2 4) を介して通信するように適合され、

1 つまたは複数のマイクロアンテナ (2 3 0、 4 3 0 - 1 ~ 4 3 0 - N) と、

処理要素データ出力を表す 1 つまたは複数の R F 信号を送信するように適合され、第 1 のデータリンクプロトコルに基づいて前記処理要素データ出力を変調するように適合される 1 つまたは複数の無線送信モジュール (2 1 0、 4 1 0 - 1 ~ 4 1 0 - N) と、

処理要素データ入力を表す 1 つまたは複数の R F 信号を受信するように適合され、第 2 のデータリンクプロトコルに基づいて前記処理要素データ入力を変調するように適合される 1 つまたは複数の無線受信モジュール (2 2 0) と、を含む、
処理要素 (2 0 0) 。